第461号
2016年4月15日
（毎月15日発行）
1部20円（組合員の購読料は組合費に含む）

JR貨物労組

日本貨物鉄道労働組合
〒114-0013
東京都北区東田端1－16
JR貨物田端信号場駅5F
☎NTT 03-3819-7071
JR 054-2901～3
発行人 相澤武志
編集人 藤田尚輝

「平和を守る！政治を変える！社会を創る！職場から未来を切り拓く！4.3大集会」開催!!

4月3日に東京にて、JR総連主催「平和を守る！政治を変える！社会を創る！職場から未来を切り拓く！4・3大集会」が開催され、貨物労組からも200名を越える多くの組合員と家族が参加しました。

私たちの未来を決する 今夏の参議院議員選挙

自民党・安倍政権は昨年秋、連日国会前に市民が集まって反対の声をあげる中での安保関連法の強行採決や、フクシマ原発事故の教訓に目を背けて原発政策を推進しています。また安倍政権の閣僚からも、表現の自由を脅かすメディアへの圧力ととれる発言が出されています。

私たちは昨年戦後70年を迎えて、平和主義・立憲主義・民主主義が脅かされ、戦後から戦前へ向かうという大きな歴史の転換点に立たされています。

その中で今夏に控える第24回参議院議員選挙は、憲法改正が争点に掲げられ、まさに私たちの未来、そして子どもたちの未来を決する重要な選挙です。私たちは平和を守り、立憲主義に基づいた民主主義を守るために、組織の総力を上げてJR総連推薦予定候補者全員の勝利をかち取らなければなりません。

JR貨物で働く私たちの 要求実現に向けて

また私たちはJR貨物改革の完遂のために、労使では解決できない構造的諸問題の解決など、国政における議論は欠かすことができません。JR貨物発足30年を目前に控えて、過去を検証し、JR貨物で働く労働者の視点から、鉄道貨物輸送のあるべき姿を描き、政策をもって実現させるために、「たしろかおる参議院議員」をはじめとした関係議員との連携した闘いが重要です。この間私たちが「たしろかおる参議院議員」と共に省庁要請行動などで要求していた、「高性能車両に関する特例措置」や「モーダルシフトを具体的に進める「改正物流総合効率化法」の成立」なども、具体的に実現できました。今後は、税制優遇策の適用に尽力していただきます。

相澤中央執行委員長の決意表明

政治の主役は私たち

集会の中では、各参加者から決意表明がされ、JR総連の単組を代表して相澤中央執行委員長が、今夏の参議院議員選挙の意義と、組合員に向けてこれまでの闘いに自信と確信をもって、組合員と共にさらに闘いを進める決意を述べました。政治は私たちの生活を決める重要なものです。今夏の参議院議員選挙では、全ての組合員が権利を行使して安心して暮らせる社会の構築と、私たちの要求実現をかち取りましょう。

JR貨物発足30年検証中!

JR貨物発足30年検証委員会は、「第32回定期全国大会」への提言提出に向けて、各グループでJR貨物発足から30年の検証を行っています。

JR発足30年検証及び連帯・継承グループ
・国鉄改革の検証、貨物労組30年の闘いの検証。また、その闘いをどのように検証していくか、貨物労組の組織強化・拡大に向けた検討会。

将来展望検討及び政策・制度検討グループ
・経営基盤の確立に向けた将来展望についての検討（組合版ロードマップに基づく部会案の組合案化）及び構造的諸問題の洗い出しや、防災や減災の観点からの政策・制度要求作り。

「2016JR総連春闘を、全国の職場から一体となった闘いありがとうございました!!」

主な妥結内容

- 定期昇給4号俸実施（平均5,927円）
- 平成14年度以降採用された組合員について1号俸引き上げ
- 55歳以上の社員は基本給に3,000円の加算（昨年より1,500円増）
- 初任給を1号俸引き上げ
- 契約・臨時社員の基本給を定期昇給分（2.20%）引き上げ
- 嘱託社員調整手当1,000円増額（基本給14万の社員には2,000円増額）　他

（3面に職場からの闘いの報告掲載）

新入社員のみなさん
入社おめでとうございます!!

私たち日本貨物鉄道労働組合（JR貨物労組）には、JR貨物で働く社員の75%以上が加入しています。

新入社員研修を経て、一緒に職場で働ける日を心待ちにしています。みんなで働きやすい職場をつくっていきましょう!!

目の前の現実から、未来を描く

マイ・ターミナル

我が家に昨年10月に産まれた第二子となる長男は、検診で異常が見付かり様々な検査を行ってきた。現在は耳の聞こえが悪く、脳の検査にも入る予定で、今後も検査や経過観察、また治療が必要になる場合も出てくるだろうし、これからも病院通いは続く。

初めて異常があることが発覚した時、妻は大変ショックを受けていた。この子の未来に対する不安や、自分が乗り越えられるだろうかと…。このことで妻と私は真剣になって向き合い話をし、勇気をもって両親や友人に悩みを打ち明けると、みんな温かく寄り添ってくれた。

先日眼科の検査を行った。「両目とも異常なし」であった。これまで私は目が見えることに何の疑問をもっていなかった、目が見えるということがどれだけ幸せな事なのが、我が子を通して身を持って実感している。検査も進むにつれて、出来ること・出来ないことが少しずつだが分かってきた。不思議と出来ないことが分かっても、次に何をするべきかが見えてくるので、ショックというより不安が晴れていく方が大きい。大事なことは、目の前の現実に留まらず、何をするべきか確定し、未来を描けるのか否かである。

JR貨物は退職者が増えているが、その補充が行われず職場の要員は不足し、安全の確保も危うくなっている。目の前の職場現実をしっかりと捉えて対処し、28年度末でけではなく、10年20年先…さらにその先の未来を描けるのか。今私たちが問われているのではないだろうか。

（I）